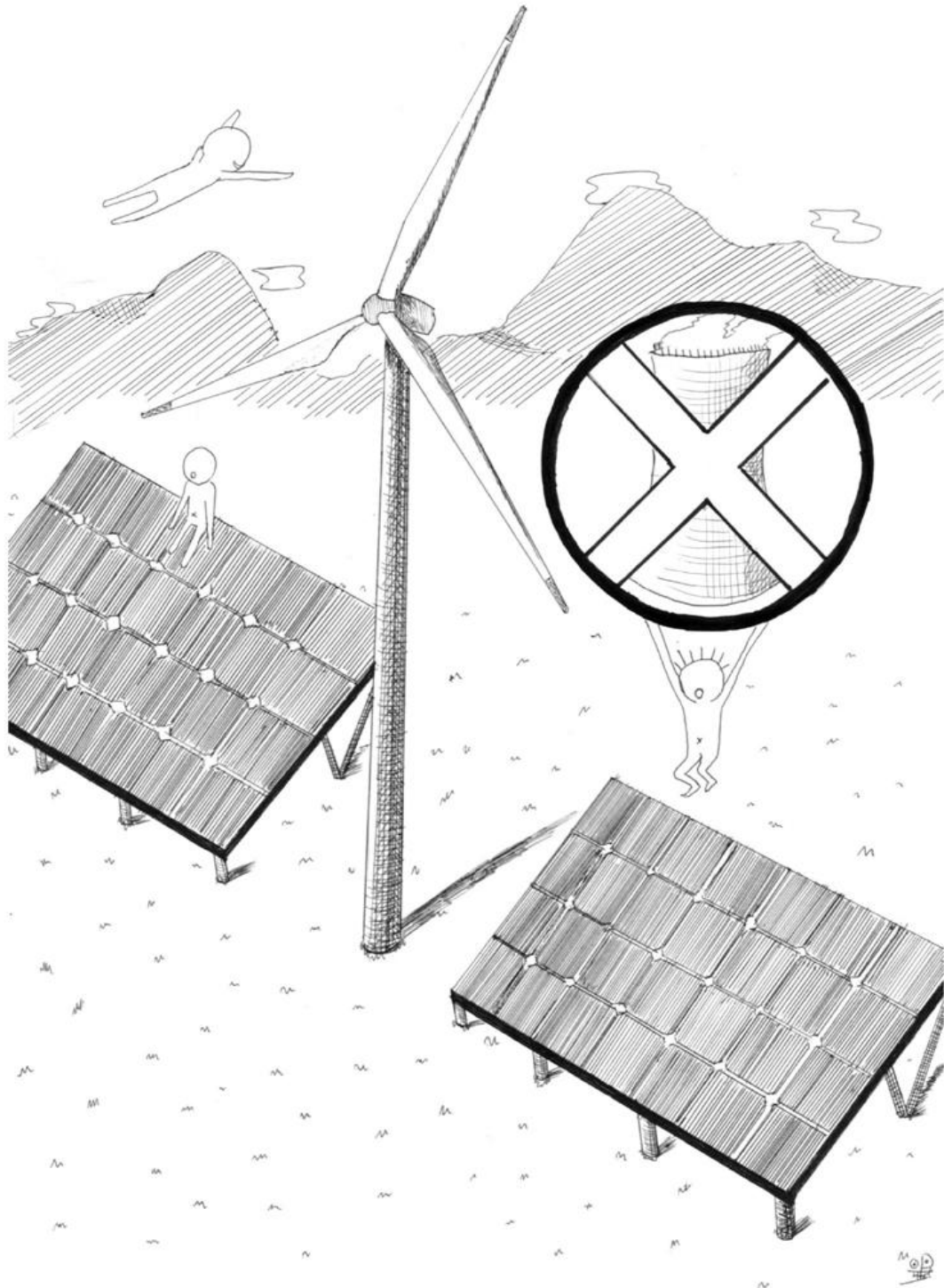


こがねい

放射能測定室だより

小金井市放射能測定器運営連絡協議会



- 小金井市での放射能測定事業を継続させていくために -

私達小金井市放射能測定器運営連絡協議会は、小金井市からの委託を受け、食品の放射能測定を24年間に亘って続けてまいりました。1990年にスタートした小金井市の放射能測定事業は、市が測定機器を購入・維持管理し測定申し込みを受け付ける一方、測定業務については市民である協議会会員が報酬を受け取らない、いわゆるボランティアとして担う、という形で進められてきました。行政と市民が力を合わせ、測定事業を絶えることなく長い期間続けてきたという事実とその成果は、内外に対して誇ってよいものと言えるのではないのでしょうか。

2011年3月の福島第一原発事故の後、小金井市の測定事業は全国各地から、そして海外のメディアからも大きな関心を集め、視察や取材、見学の申し込みが殺到しました。さらには消費者庁からも、自治体への放射能測定器貸与事業の開始に際して小金井市の取り組みを参考にしたいという意向により、視察を受けました。注目すべき活動としていくつものメディアで紹介され、自分たちの力で放射能測定を始めたいと願う各地の市民グループの多くから「うらやましい」との言葉をかけられるごとに、私達は「行政と協力しあってやってきたからこそ長く続いたのです。」と答えてまいりましたが、何より疑いないことでしょう。しかし、24年間も使い続けた測定機器は、耐用年数をはるかに超え、こここのところ故障が続いています。今現在(2014年9月)も、故障により測定ができない状況にあります。修理が完了するまで測定が中断し、お申込みをされた市民の方にお待ちいただくのは大変心苦しく、残念なことです。また、この先いつまでも修理が可能とはとても考えられません。早急に「新しい測定器での測定」を実現させていかなければなりません。事故による汚染を受け、流通する食品に関しては国の定めた基準値を超えるものは店頭に並ばないしくみが設けられました。しかしながら、自分で栽培したものや庭先で生ったもの、自生のハーブや野草、草木の実、釣った魚等、測定してみなければ汚染の有無を確認できず、口にするのが不安なものは身近にたくさんあります。自宅の近くで、しかも無料で食品の放射能を測定でき、安心して食べることのできる有難さを我々小金井市民は手離すわけにはまいりません。さらに、今後の原発や核施設の事故の可能性もないとは言えません。国内ならずとも海の向こうにも原発がたくさん建設されています。事故が再び現実のものとなるとすれば、迅速に身のまわりの放射能を測定できる体制を確保しておくことが何より重要であり、守っていくべきものであるはずで。

私達協議会は、市民のための放射能測定がこの小金井ですと継続されていくことをめざし、根気強く活動してきました。この先も測定を続けていくことに力を尽くしたいと考えています。そのためには、新しい測定器がぜひとも必要です。多くの市民が、一日も早く安定した測定ができる日を迎えたい、と願っています。市の前向きな検討を望みます。

参考となる情報やご意見がありましたらお寄せ下さい。宜しくお願い致します。

2014年 9月

小金井市放射能測定器運営連絡協議会 会長 香田頼子
小金井市放射能測定器運営連絡協議会 公式サイト
<http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com>

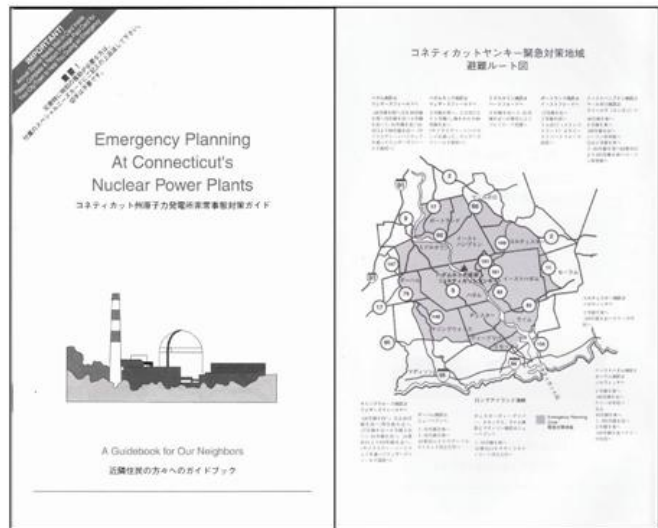
協議会を支え続ける『小金井市に放射能測定室を作った会』

小金井市放射能測定器運営連絡協議会(以下『協議会』)は90年7月に発足。その誕生の母体が「小金井市に放射能測定室を作る会」です(以下『作った会』)。小金井市から測定業務を受託(無償)する『協議会』とは違い、『作った会』は独自の活動により『協議会』を物心両面で支え続けてきました。(とは言え両者のメンバーはほとんど重なっていたのですが…)いくら私達が放射能に問題意識を持っていようと、ほとんど毎回「検出せず」の測定を10年、20年と続けていくことは大変根気の要ることです。その根気を支えたものは『作った会』としての二つの活動だったと思います。そのひとつは学習です。『協議会』主催の講演会などの他に『作った会』では水俣病・地球温暖化・原発事故防災などの学習を続けました。

そんな学習の中から生まれたのが「コネティカット州原子力発電所非常事態対策ガイド」です。「チェルノブイリ救援・中部」の河田昌東さんからいただいた原本を『作った会』で翻訳。発行した時に偶然、東海村のJCO核燃料臨界事故が起きたことも重なり、新聞・ラジオで取り上げられましたが3.11後の参議院行政監視委員会でも石橋克彦教授(神戸大学)がこれを例に挙げ「原発周辺の人々に配る必要」を主張しました。「コネティカット」に続き、日本の住民の立場で作成したのが「T家の原子力事故避難マニュアル」です。そもそも原発事故の被害はマニュアルなどで防ぎきれものではありませんが、少しでも実効性のあるものが絶対に必要であると考え取り組みました。当時は底なし沼のような原発事故の被害の大きさを思い、それに比してあまりにつたないマニュアルしかできないことが苦しくて眠れない時もありました。原発事故防災は放射能を測定する者として避けては通れないテーマであること、事故の可能性が私達の測定への意思を支えていることは今も変わりありません。

測定への思いを支えたもうひとつは情報発信、『はがきニュース・放射能ってどんな味?』の発行です。『協議会』発足を契機に発行を始め、その時々々の測定結果・原発事故・環境問題など放射能と原発に関わる様々な話題をはがき1枚に収めて、小金井市民を中心に縁のできた全国の方々に無償で送り続けました。書くことは勉強になり、また読者からの反響にも励まされ、測定を続けていく大きな原動力になりました。

私達は放射能を「なぜ測るのか?結果から何を読み取るのか?」を考え続け、それを人々と共有し、暮らし良い世の中になってくれることを願って測定し続けています。『協議会』には3.11後再び若いママ・パパ達が自発的に集い、確実に測定業務を荷って来ていて本当にうれしく有難いことと思っています。その昔若くて美しいママ達だった『作った会』のメンバーはこれからも命あるかぎり『協議会』を支え続けます!



コネティカット州原子力発電所非常事態対策ガイド 日本語版



T家の原子力事故避難マニュアル

【2013年10月～2014年7月】10Bq/kg以上の測定結果

測定日	測定品目	産地	測定結果(Bq/kg)
11/15	れんこん	茨城県	12.17
12/18	キウイ	福島県	11.11
1/10	柿(2013年)	福島県川俣町	19.57
1/15	ゆず(2013年)	福島県川俣町	63.70
2/25	生しいたけ	東京都調布市	25.93
2/28	※1乾燥まいたけ	群馬県	156.68
3/7	製茶	日本	23.37
3/11	鬼くるみ	新潟県	24.47
4/1	鬼くるみ	新潟県	20.56
4/2	乾燥まいたけ(水戻し)	群馬県	28.40
4/11	はこべ	市内	14.75
5/20	どくだみ	市内	25.64
6/3	たけのこ(生)	岩手県大船渡市	21.15
6/10	どくだみ	市内	29.81
6/25	どくだみ	市内	49.12
7/9	※2ローリエ(86年度産)	トルコ	294.01

*測定結果はセシウム134とセシウム137の合計です (Bq/kg)

*検体は洗浄・未洗浄に関わらず依頼者が持ち込んだ状態で測定しています

*10(Bq/kg)が検出限界(数値測定できる下限値)です

※1 乾燥まいたけは乾燥状態の場合、厚労省の基準値は適用されません。

※2 チェルノブイリ原発事故で汚染されたトルコ産ローリエを1990年から数年おきに測定しています。セシウム137の測定値は1990年:477Bq/kg、1997年:428.95 Bq/kg、2004年:361.53Bq/kgです。セシウム137の半減期は30年といわれています。計算通りとすると、このローリエのセシウム137は2170年に10Bq/kg以下になります。

下記測定結果の公表を控えます。ご了承ください。

3/19 乾燥まいたけ(水戻し)群馬県…測定容量不足のため

【2013年10月～2014年7月】10Bq/kg未満検体 月別一覧 (数字は測定日)

10月	/1 さんま(北海道) /1 ちらし寿司の素(不明) /2 焼きいも(茨城県行方市) /2 たら(宮城県) /4 まいたけ(福島県会津地方) /4 さつまいも(市内) /8 栗渋皮煮(山梨県大月市) /8 じゃがいも(山梨県大月市) /9 生イカ内臓(北海道) /9 しいたけ(徳島県) /11 しその実(市内) /11 赤しその実(市内) /16 原木まいたけ(徳島県) /16 焼きいも(茨城県) /18 柿(東京都東村山市) /18 りんご(青森県弘前市) /22 生イカ(千葉県) /22 ほうじ茶(日本) /23 アップルミント(市内) /23 玄米(市内) /25 玄米(市内) /25 さつまいも(市内) /29 みかん(市内) /29 ぎんなん(市内) /30 チョコパン(小麦粉:カナダ,アメリカ) /30 ブルーベリーパン(小麦粉:カナダ,アメリカ)
11月	/1 メープルパン(小麦粉:カナダ,アメリカ) /1 黒豆抹茶パン(小麦粉:カナダ,アメリカ) /5 コンビーフ(不明) /5 空芯菜(市内) /6 もみのり(有明海) /6 マッシュルーム(千葉県香取市) /8 ビスケット(フランス) /8 キャットフード(日本) /12 りいも(栃木県那須塩原市) /12 麦芽入り豆乳飲料(大豆:カナダ) /13 梅干し(福島県) /13 青汁(不明) /15 揚げもち(茨城県桜川市) /19 柿(市内) /19 どくだみ生茶葉絞り液(日本) /20 柿(市内) /20 米(福島市) /22 食酢(不明) /22 麦焼酎(麦:オーストラリア) /26 玄米(北海道) /26 マカロニグラタン(岩手県) /27 みかん(東京都武蔵野市) /27 柿(市内) /29 ラーメン(不明) /29 柿(市内)
12月	/3 米(宮城県) /3 果実、野菜ミックスジュース(リンゴ、ブロッコリー:長野県、ほうれん草:岐阜県、小松菜:愛知、徳島) /4 玄米(鳥取県) /4 米ぬか(長野県小諸市) /6 玄米(まんぶくもち)(群馬県) /6 玄米(ひとめぼれ)(不明) /10 製茶(日本) /11 柿(市内) /11 水(RO水)(市内) /13 玄米(群馬県) /13 かつお節(不明) /17 油ぼうず(深海魚)(茨城県) /17 りんご(群馬県) /18 生たら(岩手県) /20 ほうれん草(市内) /20 夏みかん(市内)
1月	/8 水道水(市内) /8 いりこ(不明) /10 米(茨城県大田原市) /17 落花生(2013年)(千葉県) /17 ピーナッツバター(スプレッド)(不明) /21 乾燥きのこ(中国) /21 お茶(鹿児島県) /22 焼きのり(千葉県) /22 めんつゆ(不明) /24 スパゲッティ(イタリア) /24 菜花(千葉県館山市) /28 ゆず(市内) /28 大根(茨城県取手市) /29 生たら(岩手県) /29 スズキ(神奈川県) /31 ウィスキー(不明) /31 小麦粉(日本)
2月	/4 きな粉(日本) /4 押麦(日本) /5 ごぼう(市内) /5 素干しあみ(三陸産) /7 まいたけ(新潟県) /7 菌床しいたけ(群馬県) /12 煮干(日本) /12 めかぶ(宮城県) /14 抹茶ビスケット(不明) /14 ドライパック大豆(北海道) /18 生たら(青森県) /18 わかさぎ甘露煮(中国) /19 ふきのとう(福島県) /19 南三陸チャウダー(不明) /21 いかの塩辛(南太平洋、日本) /21 粉ミルク(群馬県) /25 干しいも(中国) /26 梅干し(東京都江戸川区) /26 米(千葉県) /28 れんこん(茨城県)
3月	/4 ふかしさつま芋ペースト(茨城県) /5 玄米(千葉県成田市) /5 はちみつ(群馬県) /7 きな粉(北海道) /11 しろざけ中骨缶詰(北海道東北沖) /12 原木しいたけ(東京都奥多摩町) /12 麦こがし(日本) /14 にじます甘露煮(不明) /14 干しいも(茨城県) /18 おぼろ昆布(北海道) /19 干しいも(茨城県) /25 米(新潟県) /25 菜の花(大阪府) /26 ブルーベリージャム(フランス) /26 えのき茸(長野県) /28 もやし(茨城県) /28 豆もやし(不明)
4月	/1 黒五きなこ(不明) /2 乾燥まいたけ(戻し汁)(群馬県) /4 姫くるみ(新潟県) /4 お茶(日本) /8 干しそば(不明) /8 こおなご佃煮(不明) /9 ふきのとう佃煮(日本) /9 ブルーベリージャム(欧州産) /11 米(不明) /15 豚肉(山梨県) /15 小麦ふすま(日本) /16 たけのこ(生)(市内) /16 よもぎ(市内) /18 たんぽぽ(全草)(市内) /18 はこべ(市内) /22 のびる(東京都府中市) /22 たけのこ(市内) /23 のびる(市内) /23 緑茶(日本) /25 たけのこ(東京都小平市) /25 スギナ(市内) /30 絹さや(千葉県)
5月	/2 どくだみ(市内) /2 ふき(不明) /7 たけのこ(市内) /7 たけのこ(水煮)(千葉県市原市) /9 抹茶入り干しそば(日本) /9 煮干し(千葉県) /13 さくらんぼ(市内) /13 よもぎ(市内) /14 豆乳(日本) /14 おからクッキー(不明) /16 どくだみ(市内) /16 よもぎ(市内) /20 ゆで山菜(山形県最上地方) /21 れんこん(茨城県) /21 赤飯(不明) /23 はこべ(市内) /23 黒豆菓子(日本) /27 さば(千葉県) /27 桑の実(市内) /28 大豆水煮缶(日本) /30 粉末凍り豆腐(不明) /30 笹かまぼこ(アメリカ、インド、マレーシア)
6月	/3 ライ麦(ドイツ) /4 よもぎ(乾燥)(市内) /4 煎茶(静岡県) /6 さば水煮(日本) /6 牛乳(不明) /10 ブルーベリージャム(デンマーク) /11 しいたけ(徳島県) /11 わらび(山形県) /13 水道水(市内) /13 しらす(鹿児島県) /17 びわ(市内) /17 どくだみ(市内) /18 びわ(市内) /18 桑の実(市内) /20 原木しいたけ(九州産) /20 ローズマリー(市内) /24 煎茶(不明) /24 ゆすらうめ(市内) /25 ミックスフルーツ(缶詰)(東北産) /27 すもも(市内)
7月	/2 やまもも(市内) /2 干しいたけ(日本) /4 さんま(北海道) /4 天然ぶり(北海道) /9 赤しそ(市内) /11 なめ茸(不明) /11 だしパック(不明) /16 水道水(市内)

2011年から3年半 -測定結果から見えること思うこと-

2014年の測定結果考察と、現在の測定器の状況についてご報告します。

■検出された検体数の推移

測定室ではセシウム134と137を測り、合計10Bq/Kg以上の検体を公表しています。

事故が起こった2011年度に10Bq/Kgを超えた検体は37件ありました。2012年度は19件、2013年度は17件です。減少傾向にあります。これはセシウム134の半減期(放射性物質の数が半分になるまでの時間)が2年のため、事故で放出された時に比べて計算上ではセシウム全体の数が2014年9月現在、半分程度に下がっているからです。セシウム全体の数は今後も減っていきますが、半減期が30年のセシウム137はあとあとまで残ります。長い年月に渡って注意が必要です。

■検出されたものと主な原因

2013年10月～2014年7月までに10Bq/Kg以上検出された検体は、ユズ、キウイ、柿、鬼くるみ、生しいたけ、乾燥まいたけ(水で戻したもの)、タケノコ、れんこん、製茶、はこべ、どくだみです。

主な原因は検体によります。

ユズ・キウイ・柿・鬼くるみ…多年生植物(特に常緑樹)の種実類※

生しいたけ・乾燥まいたけ…非粘土質に育つもの※

タケノコ…カリウムを多く含む作物。未熟な有機物腐植層での生育※

れんこん…水や泥の中で育つ作物※

製茶…多年生植物であり、カリウムが多い※

はこべ・どくだみ…根が浅い植物。市内に生えているどくだみを数回測定していますが、セシウム濃度にかなりばらつきがあります。狭い範囲でも汚染が均一ではないということです。

ローリエ(トルコ産)…1986年産。協議会が保存していたものです。28年前に起こったチェルノブイリ事故により汚染されました。

(※参考資料:食物からセシウムが検出される主な原因の分類表-国分寺こどもみらい測定所)

■測定器の故障

24年間市民が申し込んだ食品や、2012年までは市内の保育園・小中学校の給食を測り続けてきた測定器が7月に故障し、測定の申込み受付を中止しています。

事故直後からしばらくは測定の申込みが殺到していました。家庭菜園で採れたもの、お米、製茶などが多く、その他色々な流通食品、子どもに飲ませて良いのか不安で母乳を持参したお母さんもいらっしゃいました。その後徐々に申込み件数が落ち着いてきて、今年7月から、週6回の測定回数を、4回に変更した矢先の故障でした。現在、市が修理の依頼を進めていますが費用の問題などがあり時間がかかっています。落ち着いたとは言っても、放出された放射性物質は年月とともに移行して、この先何を汚染していくのか分かりません。福島第一原発からは未だに汚染水が流出し続け、海洋の汚染をますます深刻なものにしています。今後も測定を継続して結果を公表していくことは必要だと思えます。測定を早急に再開し、小金井市の誇れる市民協働事業として、私たちはこれからも測定室の活動を続けていきたいと思っています。(菊地)

国分寺「こどもみらい測定所」見学記

JR国分寺駅南口から徒歩10分ほどの場所に、2012年12月に開設した放射線市民測定所「こどもみらい測定所」があります。今年7月、かねてから情報交換をしたかったことから測定室のメンバーで測定所に伺い、代表の石丸偉丈さんにお話を聞きました。

■NaIシンチレーション検出器での測定

こちらではベラルーシのATOMTEX社製AT1320Aを2台保有し測定されてます。この測定器は、小金井市では給食の測定に使用している、消費者庁から貸与された測定器と同じタイプの測定器です。これまでに2000検体以上を測定してきたそうです。私たちと同様の「NaIシンチレーション検出器」という簡易測定器ですので、測定の限界や間違いやすい点など、市民が測るということの意味、意義を再確認しました。



例えば、事故後の2012年1月の雪をシンチレーション検出器で測定した方が「ヨウ素が検出された!」と公表して話題になったことがあります。これは天然核種の「鉛214」と「ヨウ素131」が似たエネルギーであるために間違ってしまったのが原因でした。また、空気・土壌中にはセシウムに似た「ビスマス214」という物質もあり、天候などの条件によってはセシウムと間違えて検出の数値が出てしまうこともあります。

■安心して食べるための測定へ

また石丸さんは、事故後3年半経って市民測定所としての役割が変わってきたと言います。持ち込まれた食品からセシウムが検出されることが少なくなり、検出される食品の種類や傾向がかなりわかってきました。そこで、汚染された土地で栽培し収穫された野菜なども、測定することによってセシウムの心配のないものがあることを皆さんに知ってもらえるのではないかとおっしゃっていました。

私たちの測定室でも同じ状況で、市内の畑や庭で収穫した野菜、果物から検出されることが少なくなりました。その結果、小金井市内の畑の庭先販売所の野菜も安心して購入できる、という声も寄せられています。

今後もこどもみらい測定所とは情報交換など協力をしながら、小さい測定所でもコツコツ測り続けることで、地元だけでなく福島など被災地へ何らか役立つことができたらと思っています。(矢澤)

こどもみらい測定所では食品のほか土壌の測定もしており、HPにて測定結果も公開しています。

また、全国の市民放射能測定所が測定した結果を検索・閲覧できるサイトも立ち上がっています。

みんなのデータサイト <http://www.minnanods.net>

こどもみらい測定所

測定は1件3000円～。できるだけ低い検出下限値を目指して延長測定を実施することも。

隣接するカフェ「カフェスロー」では月に一度お話を開催。測定情報の提供や、放射能に関する不安や質問などにも答えていただけます。

〒185-0022

東京都国分寺市東元町2-20-10 memoli内

tel.& fax: 042-312-4414

<http://kodomira.com>

info@kodomira.com

会員募集中

小金井市放射能測定器運営連絡協議会の活動は、ボランティアの会員によって行われています。協議会では、現在会員募集中です。現在会員は20名程度、毎月の定例ミーティングでは、測定結果の詳細な内容などを確認したり放射能問題に関する情報交換等も行っています。測定は各自出来る範囲のスケジュールで交代で行っています。測定員にならなくても、WEBや事務作業その他の作業などを分担する場合があります。自ら測定したり、情報交換する事で、放射能についての知識が深まります。原発、放射能問題に関心の高い方は会員になってみませんか？ 興味のある方、ご質問のある方は下記までご連絡下さい。

・年会費:1500円

・基本的に、月一回のミーティングに参加出来る方

・まずは測定室やミーティングをご見学いただき、その上で考えていただく事も可能です

小金井市放射能測定器運営連絡協議会事務局

電話番号：042-384-0053（香田 頼子）

e-mail：koganei.sokutei@gmail.com

公式サイト：http://hosyanousokuteishitsu-koganei.jimdo.com/

放射能測定 検体募集中（※測定機器故障のため、2014年10月現在、募集休止中）

小金井市に在住・在勤・在学の方で、気になる食品の放射能測定をしたい方はどなたでも無料で利用出来ます。下記の手順で小金井市役所経済課にお申し込み下さい。（非営利目的に限ります）



●検体は200ccの容量が必要です(重さではなく、容量なのでご注意ください。スパゲッティでは150gくらい、生しいたけでは210gくらいなど、同じ容量でも食品によって重量が異なります。)

●検体はミキサーなどで細かく砕いておいてください

●測定済み検体と測定結果の受け取り方法は協議会とご相談ください

●食品に限ります

●無料です

測定場所：

小金井市立上之原会館
武蔵小金井駅北口5分
〒184-0004
東京都小金井市本町5-6-19

申し込み・問い合わせ

小金井市役所 経済課
042-387-9831